

「ウイルス感染症予防」に関する啓発・掲示

日本国内では、空気が乾燥して寒くなり始める11月頃から、ノロウイルスやインフルエンザウイルスなどウイルス性の病気が増加していきます。特に上記の2つのウイルスは感染力が強く、毎年全国各地で集団感染事例を引き起こしています。これらの病気にならないためには、原因となるウイルスの特徴を知り、それぞれのウイルスに対する感染予防策を講じる必要があります。

今回、ノロウイルスに関しては「ノロウイルス食中毒注意報発令中」の掲示とともに、手洗い方法とウイルスの消毒方法について紹介し、個々の感染防止に加えて食中毒の防止を呼びかけました。インフルエンザについては、「まめな手洗いと咳エチケット」に加えて、ウイルスの特徴について一問一答形式でウイルスの特徴を紹介しました。

